
歩く

龍野ワタル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歩く

【Zマーク】

N7470P

【作者名】

龍野ワタル

【あらすじ】

自分のふとした気持ちを書いてみた詩です。

進む意味が分からなくなつてくる

ビビリに行けば良いの?

ビビリを向けば良いの?

何をすれば良いの?

何を頑張るの?

「がんばれ。進め」

あると、あるひとはただ一言

僕は今ビビリに向かつてこむのだから

僕は今ビビリを向いてこむのだから

迷つて立ち止まることがある

歩いてこむうちに道に迷うことがある

ただひたすら歩いた

まだ先は長く、歩いた距離も短いかもしけないが

ひたすら歩いた

歩くのが嫌になつてくる

立ち止まって座り込んでしまったこともある

すると、またあるひとは言つ

「君が、どこの方向で走るかはその方向が前なのだ」

その人は続けて言つた

「分からなければ、今日の前にある自分の“やるべきこと”を一つずつしていきなさい。立ち止まっていても何も始まらない」

最後にその人はこう言つてどこかへ行ってしまった

「こゝれ進むべき道は見えるよ」

そうか

遠くばかりみても何も始まらない

終わらない

その言葉を信じてみじてみよう

いつか光が見える場所へ行けると信じてみよう

どんなに道が険しくても

どんなに道が暗くても

光が見えるまで一歩ずつ

そうして僕はまた、ただひたすら歩くことにした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7470p/>

歩く

2011年10月8日12時32分発行